

医療リベラルアーツ 責任者：微生物学講座・分子微生物学分野 佐々木 実教授
 病理学講座・病態解析学分野 入江 太郎教授

第3学年 前期・後期

講義
 前期 10.5時間
 後期 7.5時間

教育成果（アウトカム）

他領域で活躍している講師による講義・演習を通して、多様な価値観を持つ他者を理解し、広い視野に立った物の見方や考え方が形成される。歯科医療に必要な専門英語を習得することにより、医療に必要なコミュニケーションスキルの向上と構想力が養われる。（ディプロマポリシー：1, 4, 6, 7）

事前学修内容及び事前学習時間（30分）

ユニット1～7については、シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、一般書やインターネット等を用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。事前学習内容をノートにまとめ当日持参すること。

ユニット8～12については、各回到達目標の内容に関し教科書を用いて調べるものとし、各回最低30分を要する。WebClassにテキストの音声ファイルを公開する。適宜、事前学習内容の発表時間を設ける。

講義日程

ユニット1～8の講義においてはディスカッション形式を取り入れて行う。

ユニット9～11は小人数のグループ学習形式により行う。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
4月9日（金） 3限 講義 ディスカッション形式	川村 央隆 （岩手県国際交 流協会）	ユニット1 多文化共生 外国人患者への対応方法 を習得する。	1. 多文化共生社会の定義を述べる。 2. 異なる価値観、異文化理解の必要性を述べる。 3. 外国人患者が来た時の対応方法を述べる。 アクティブラーニング：ディスカッション形式の講義を行う。 ICT、事前学習：講義内容に準じる領域についてインターネット等で検索し講義に望むこと。 [A-4-1]-①、②]
4月23日 （金） 3限 講義 ディスカッション形式	島貫 亮一 （トミーインター ナショナル）	ユニット2 矯正歯科材料の開発から 販売まで 歯科材料の製品化までの 流れを理解する。	1. 歯科材料のマーケティングを説明する。 2. 製品の企画、開発、販売の流れを述べる。 3. 企業の分業体制を説明できる。 4. 企業がグローバル化する背景を述べる。 アクティブラーニング：ディスカッション形式の講義を行う。 ICT、事前学習：講義内容に準じる領域についてインターネット等で検索し講義に望むこと。 [A-2-2-①、② D-1-①、⑤、⑥]

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
4月30日 (金) 3限 講義 ディスカッション形式	小野寺 憲一 (岩手医科大学 総合保安対策 室長)	ユニット3 モンスターペイシエント への対応 患者とのトラブル防止及び回避方法を習得する。	1. 医療と悪質クレームの関係、およびクレームの例を述べる。 2. モンスターペイシエントのタイプを列挙する。 3. 診療時に暴力事案が発生した場合の処理要領を述べる。 アクティブラーニング：ディスカッション形式の講義を行う。 ICT、事前学習：講義内容に準じる領域についてインターネット等で検索し講義に望むこと。 [A-4-2]-①～⑦]
5月7日(金) 3限 講義 ディスカッション形式	矢野 明 (岩手生物工学 研究センター)	ユニット4 食と健康 地域の農林水産資源が有する健康機能性について学び、疾病予防への活用可能性を理解する。	1. 食の機能を知る。 2. 日本社会の人口構成変化を背景とした、健康づくりの重要性を学ぶ。 3. 岩手県の農林水産資源に含まれる有効成分や、その活用事例を知る。 アクティブラーニング：ディスカッション形式の講義を行う。 ICT、事前学習：講義内容に準じる領域についてインターネット等で検索し講義に望むこと。
5月14日 (金) 3限 講義 ディスカッション形式	吉田 亮 (ホテルメトロ ポリタン)	ユニット5 接客とクレーム処理 良好な対人関係を築くため、ホテルサービスを事例として提示し、接客の特性とサービスの満足度、およびクレームの発生メカニズムを習得する。	1. 接客を定義し、その特性を述べる。 2. 事前期待と実績評価の関係を説明する。 3. サービス(接客)の満足度の決定要素を列挙できる。 4. クレーム発生のメカニズムとその原因を分析し、対応策を述べる。 5. 実務上難しい取組と簡単な取組を説明できる。 アクティブラーニング：ディスカッション形式の講義を行う。 ICT、事前学習：講義内容に準じる領域についてインターネット等で検索し講義に望むこと。 [A-4-2]-①～⑦]
5月21日 (金) 3限 講義 ディスカッション形式	二瓶直登 (福島大学食農 学類准教授)	ユニット6 食品と放射能 放射能事故による人体への影響を正しく理解するため、食品の放射線学的安全性について修得する。	1. 放射線被ばくに関する単位を列挙する。 2. 外部被曝と内部被曝の違いを述べる。 3. 身の回りの放射線について述べる。 4. 体内と食品中の自然放射性物質を列挙する。 5. 食品の放射能に関する基準値の考え方を説明する。 アクティブラーニング：ディスカッション形式の講義を行う。 ICT、事前学習：講義内容に準じる領域についてインターネット等で検索し講義に望むこと。また、スマートフォン等を利用したクイズを講義中に行う。 [B-2-4]-①、②]

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
5月28日 (金) 3限 講義 ディスカッション形式	堀江 皓 (岩手大学名誉教授)	ユニット7 産学連携による地域産業おこし 産学連携による地域産業おこしについて理解する。	1. 我が国の産学連携の歴史について説明する。 2. 産学連携機関とその役割について説明する。 3. 産学連携の具体的手法と技術移転例について説明する。 アクティブラーニング：ディスカッション形式の講義を行う。 ICT、事前学習：講義内容に準じる領域についてインターネット等で検索し講義に望むこと。 [A-8-1]-①~③]
9月13日 (月) 3限	James Hobbs 教授 (教養教育センター外国語学科英語分野)	ユニット8 医学／歯科の基本用語 (1) 基礎的な医学／歯科用語を習得する。	1. 医学／歯科分野の基礎的な英語用語を理解できる。 2. 医学／歯科用語の成り立ちと基本構造を述べる。 [A-7-2)-①]
9月15日 (水) 1限	DTP 担当教員	ユニット9 医学／歯科の基本用語 (2) 基礎的な歯科用語を習得する。	1. 医学／歯科分野の基礎的な英語用語を理解できる。 2. DTP 分野に関連した歯科用語の成り立ちと基本構造を述べる。 3. 言葉の持つ意味を深く考える態度を身につける。 [A-7-2)-①]
10月8日 (金) 1限	TxAD 担当教員	ユニット10 医学／歯科の基本用語 (3) 基礎的な歯科用語を習得する。	1. 医学／歯科分野の基礎的な英語用語を理解できる。 2. TxAD 分野に関連した歯科用語の成り立ちと基本構造を述べる。 [A-7-2)-①]
10月18日 (月) 1限	TxAD 担当教員	ユニット11 医学／歯科の基本用語 (4) 基礎的な歯科用語を習得する。	1. 医学／歯科分野の基礎的な英語用語を理解できる。 2. TxAD 分野に関連した歯科用語の成り立ちと基本構造を述べる。 3. 言葉の持つ意味を深く考える態度を身につける。 [A-7-2)-①]
2月10日(木) 1限	入江太郎教授 (病態解析学) 間山寿代准教授 (歯科矯正学)	ユニット12 医学・歯学の基本用語／ 演習1(到達度評価試験)	1. 客観的な評価(到達度評価試験)を受け、達成度と理解度を知る。 2. 結果のフィードバックを受け、英語での理解度、コミュニケーション力の向上をはかる。

成績評価方法

1. ユニット1～7までは、各ユニットで提出したレポートで評価する。
2. ユニット8～12までは、英語到達度評価試験で評価する。
3. 本科目（医療リベラルアーツ）の評価は、前者（レポート）を7/12、後者（英語到達度評価試験）を5/12の割合で算出し、総合評価点とする。
4. ユニット1～7で欠席した場合、あるいは期日内にレポート提出がない場合は、当該ユニットの評価を0とする。
5. 総合評価点が65点未満の学生には、全範囲（ユニット1～12）を対象とする再試験を課す。

特記事項・その他

- ・スマートフォン等を利用したクイズを講義中に行う場合、指示に従いインターネットに接続できるように準備すること。
- ・ユニット8～12の専門英語に関しては、WebClassにテキストの音声ファイルを公開するので、活用すること。
- ・英語到達度評価試験により達成度と理解度を評価し、試験答案の返却（フィードバック）をおこなう。各々個人で、英語での理解度、コミュニケーション力の向上に努めること。